２．　農でくらしを愉しもう！

―農を身近に感じ愉しめる機会の充実―

**（１）農を知る機会の充実**

府民のみなさんが農業・農空間をより身近に感じられるようにします。大阪産（もん）の生産状況、旬、イベントなどの情報発信や農業・農空間の大切さを学べる機会を充実します。

**【取組内容】**

1. **大阪産（もん）を知る機会の充実**

・ホームページ、メールマガジン及びFacebook等で効果的な情報発信

・ターミナルや空港等多くの人が利用する場での大阪産（もん）イベントの開催

・府庁食堂や社員食堂等での大阪産（もん）の提供

1. **農業・農空間の多面的機能を知り、学ぶ機会の充実**

・農空間なっとく出張教室の開催

・学校給食への大阪産（もん）の活用促進

・子どもたちへの農業体験・食育・花育等の機会提供

・各種メディアを通じた情報発信

＜5年後の目標＞

大阪産（もん）Facebook発信　　年間　120回以上

大阪産（もん）ホームページビュー数　　月平均　1,000ビュー増加

　　　　　　　　　　　（9,200 → 10,200ビュー）

農業・農空間について学ぶ学校等の数　100件

**（２）大阪産（もん）を食べる機会の充実**

府民のみなさんが、大阪産(もん)を手にし、味わいしやすくします。魅力的な大阪産（もん）を購入できる直売所や量販店、マルシェをはじめ、味わえる飲食店を増やします。また、大阪産(もん)にまつわる産地の特徴や、生産者の思いなど、いわゆるテロワールを感じられようにします。

**【取組内容】**

1. **農産物直売所の魅力向上**

・地元農産物の物語性や個性の紹介

・レストランの併設やイベント開催等による魅力向上

・地域ブランド農産物・加工品のミニ産地育成による品揃えの充実

1. **府民に身近な購入場所と機会の提供**

・量販店や駅ナカ等での販売拠点づくり

・マルシェなど府民と農家が直接ふれあえる場の開設

1. **大阪産（もん）を味わえる飲食店の増加**

・観光、商工と連携した大阪産（もん）を利用した料理の提供機会の拡大

＜5年後の目標＞

農産物直売所利用者数の増加　42万人（466 → 508万人）

※府が把握している農産物直売所でのレジ通過者数

大阪産（もん）ロゴマーク使用許可件数（販売者数）の増加　107件（263 → 370件）

**（３）農業・農空間での交流・体験機会の充実**

府民のみなさんが、農業・農空間で様々な体験を愉しめるようにします。このため、農産物直売所の機能を高めて、生産者との交流や農業体験を愉しむための拠点化を進めます。また、農園などの農空間での体験機会を充実します。

**【取組内容】**

1. **JA等の農産物直売所を通じた交流機会の充実**

・交流活動や直売所周辺地域での農業体験の拠点としての活用促進

1. **農業・農空間を愉しみ、交流する農園等の充実**

・農家等による市民農園、体験農園、コミュニティ農園等の開設促進

・農家のもとでの農業体験機会の充実

・民間事業者等による農業・農空間を体験できる機会の充実（健康づくり、観光等）

・国制度を活用した生産緑地等での体験農園等の整備

・福祉農園や学童農園、企業の福利厚生のための農園の整備

＜5年後の目標＞

直売所での消費者と生産者との交流事例の増加 ５事例以上　（１事例以上／年）